若者が伝統受け継ぐ

飯島　匠さん

ろっこう流 ひと探

「鉾田の夏祭り」魅力発信

飯島（いいじま）　匠（たくみ）さん（18）

若者が伝統受け継ぐ



「鉾田の夏祭り（鉾神社御例大祭）」を広く市外へ発信し、若い世代が伝統を受け継ぐ手助けをしたい」。県立鉾田一高に通いながら、お祭りをテーマに中高生や外国人を対象としたお囃子（はやし）の実演会や展示会を開く。

鉾田市が地元で、祖父も父もお祭り好き。物心が付く前からお祭りに参加し、山車を引いたり、舞や演奏を担当したりした。

活動を始めたのは中学2年の時、探究の授業でテーマをお祭りに決め、市内のイベントで実演会を開いたことがきっかけだった。次世代の担い手不足が課題だと意識しており、自分が窓口となってお祭りの魅力を伝えようと活動を始めた。

自分が主導してイベントを行うのは初めての経験だった。「お囃子の出演者である大人への指示や説明する内容の組み立てなど、大変だったが、この活動をやっていきたいという気持ちが生まれた」と振り返る。以来、5年にわたり、市内や校内で定期的に実演会や講座を開いてきた。同級生から「自分もお祭りに参加したい」と声をかけられたり、参加者の楽しそうな顔を見たりすると、活動に手応えを感じたという。

現在、高校3年生。伝統文化の継承に関心がある。「大学ではコミュニティーの再構築やまちづくりなどを学びたい。いろんな人がお祭りに参加できる環境を整え、鉾田に移住する人が増えれば」と話す。

「お祭りは自分のアイデンティティーであり、生活の一部。たとえ進学で外に出ようとも、お祭りの時期には絶対に戻ってくる」と笑顔を見せる。鉾田市鉾田。（鶴岡宜規）

茨城新聞　2026年10月28日（水）掲載